

地球気候危機の打開へ 痴漢防止対策、学校給食費の無償化を

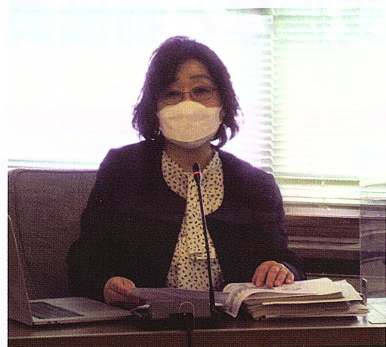
森戸よう子
一般質問から

電車での痴漢対策 女性専用車両の増車・増便を

日本共産党都議会議員団が実施した痴漢対策アンケートに1192人の回答があり、約50%が痴漢にあったと答えています。そのうち90%が電車内です。

私は市に対し、①警察や公共機関、とりわけJRと連携し、「痴漢は犯罪」などのポスターの貼り出しや女性専用車両を増やすこと、②男女共同参画計画に痴漢防止対策を盛り込むこと、③女性センターの早期設置など、求めました。

市は、①JR等の鉄道会社や警察が連携し、毎年6月に痴漢撲滅キャンペーンを実施している。また警視庁の防犯アプリ・デジポリス（右図・警視庁ホームページ参照）の活用を実施している。②小金井市としてできることを盛り込んでいきたい。③女性センターの設置は取り組んでいく、と答弁しました。



警視庁の痴漢防止対策のホームページ

学校給食の無償化を

小金井市の学校給食費は、小学校低学年が4,369円から、中学生は5,449円。憲法第26条が義務教育は無償とすると定めており、学校給食も含めた無償化は当たり前のことです。すでに、全国260自治体が無償化しており、都内でも8区が無償化を進めています。

私は、①吉良よし子参議院議員の質疑で、国は学校給食費の保護者の負担軽減を認めている。無償化は可能であり、小金井市として検討すべき、また②給食食材が値上がりしており、昨年度と同様補助をすべきと要求しました。

市長と市教育委員会は、①保護者の負担を軽減することは可能。総額約4億6千万円かかり無償化は難しい。②国の補助金の状況を見て検討する、と答弁しました。

温室効果ガスの削減目標の大幅なアップを そのための対策を急いで

世界は、地球気候危機を乗り越えるため、温室効果ガス排出量を最低でも50%以上、60%台の削減目標を掲げています。

ところが、日本政府は46%と低い目標。東京都は50%の目標、小金井市の目標は26%です。

省エネ、再生エネルギーの補助拡充を

私は以下の対策を求めました。

①温室効果ガス排出削減目標を50%に引き上げること、②そのために東京都の補助メニューも活用し、住宅等の省エネ、再生可能エネルギー導入の更なる促進、③省エネ診断士の配置や相談窓口の設置、④LED電球や省エネ電化製品への取り替え補助、⑤クールスポットの拡充、⑥国分寺崖線の緑を守る対策を求めました。

市 削減目標の変更を検討したい

市は、①目標を変更する必要性を感じている。23年度環境審議会で検討していきたい。②市地球温暖化計画に基づき、全庁的にも推進を呼びかけている。③環境フェスティバルなどイベント時に相談窓口を設置するなど検討する、④国、東京都、他市の補助メニューも参考にし、事業を進めていきたい。⑤人々の密度や動き、設置箇所の特徴などを踏まえて、適切なクールスポットの設置方法を検討していきたい。⑥東京都と連携し、国分寺崖線の緑を適切に守っていききたい、答弁しました。



くらしや労働、相続などの法律相談
弁護士事務所と連携しています。お気軽に
ご相談ください。TEL 042-383-0514